

# 日本のイニシアティブー進捗管理の仕組み構築

日本からは、目標に向けた進捗把握の仕組みとして、報告・結果の可視化を行うためのオンラインツールの構築と第三者による枠組み評価を提案し、枠組み文書に盛り込まれた。


## SAICMにおける課題：

進捗報告率が低迷（28%~43%）し、**世界全体の進捗が的確に把握できなかった。**



## 日本からの提案：オンラインツールの導入

- ・従来の紙ベースの報告の煩雑さの解消。オンラインフォーマットに基づく報告により提出率の向上を期待。
- ・各ターゲットについての進捗状況を見える化
- ・第三者委員会が枠組みを評価（イメージ）

個別指標（例）	進捗状況	国際機関（IOMC）等の関連レポート
特定の有害化学物質に起因する平均余命損失		WHO:..... ILO:.....
環境媒体中の特定の化学物質の排出量、汚染濃度		UNEP:..... OECD:.....

- ・ 枠組み採択後は国際機関（IOMC）と協働し、実際のツール・仕組み構築を主導していく。